

「見た目」って そんなに大事ですか？

2016. 6. 18
京都ノートルダム女子大学
牛田好美

本日の内容

- I 装いの社会・心理的機能
- II 暗黙裡のパーソナリティ理論
- III 着装規範（着装のルール）

I 装いの社会・心理的機能

- 1 自己の確認・強化・変容機能
- 2 情報伝達機能
- 3 社会的相互作用の促進・抑制

装いとは

装い

“かざる”、“ととのえる”、
“ふりをする”という3つの意味。

- ①装飾する 美しく飾る
- ②整容する 身だしなみを整える
- ③変身する イメージチェンジする

II 暗黙裡のパーソナリティ理論

- こういう特徴をもっている人はこんな性格をしているだろうと人々が思っているパーソナリティ理論
- 正しい場合もあれば、そうでない場合もある
- 相貌（顔）、体型、服装からどのような性格だと思われるか

パーソナリティ特性

良い性格、悪い性格はないけれど、
好まれる性格、好まれない性格はある

＜一般的に好まれる性格＞

外向的な、積極的な、心のひろい、
親切的な、感じのよい、分別のある、
責任感のある、知的な、親しみやすい

Ⅲ 着装規範

着装規範とは、人々の間で暗黙のうち共有され、社会的な場面で着装行動を規定している何らかのルール

服装を意識する場面と選ぶ基準からルールを考える

着装場面とは

- 日常生活で目的を持った場面

例えば

学校へ行く、職場へ行く、百貨店へ行く、映画を観に行く、遊園地へ遊びに行く、ハイキングに行く、コンビニへ行く、面接を受けに行く、ホテルへ行く、病院へお見舞いに行く、旅行へ行く など

着装場面の分類

『フォーマル』場面

結婚披露宴、葬式や通夜など

『セミフォーマル』場面

通勤、通学など

『インフォーマル』場面

繁華街、遊園地、映画など

着装基準とは

- その場面で服を選ぶ時に重視する基準

伝統やしきたりにあっている、自分の職業や地位にふさわしい、場所や雰囲気にあっている、流行している、自分に似合う、着ていて楽、着心地がよい、動きやすい、洗濯や手入れが簡単 など

着装基準の分類

『個性・流行』基準

デザイン・色・柄などが流行している、自分らしさが表現できるなど

『実用性』基準

着心地がよい、活動しやすいなど

『社会的調和』基準

自分の職業や社会的地位・立場にふさわしい、場所柄や雰囲気に合っているなど

やっぱり、
「見た目」は大事です

ご清聴ありがとうございました♡